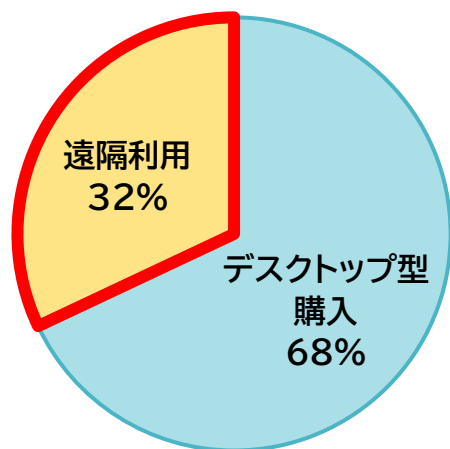


SPReAD1000 第1回公募における計算資源需要 の分析について

SPReAD第1回公募における計算資源需要の内訳（申請課題）（速報値より）

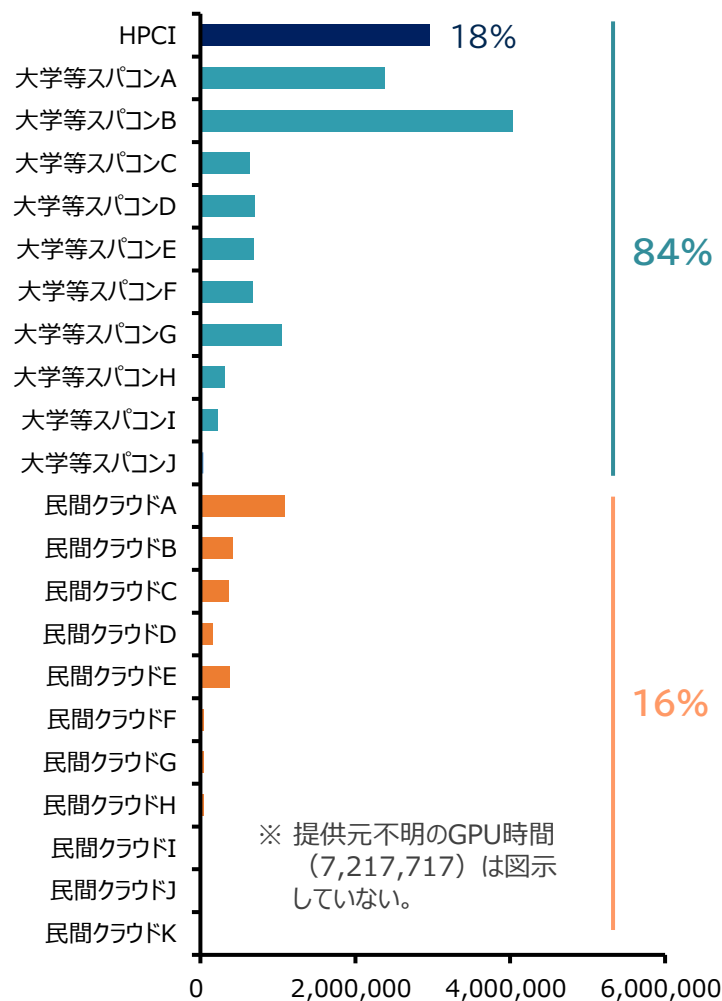
- SPReAD1000第1回公募には15,000件超の応募。申請総額に占める計算資源費(購入・利用料)は27%。
- 計算資源費のうち、デスクトップ型資源の購入が68%、大学スパコンや民間クラウド等の遠隔利用が32%。
- 遠隔利用のうち、資源の提供元が判別できる分(提供元不明分を除いた場合)の合計GPU時間の84%、申請課題数の32%がHPCI又は大学等スパコンの利用を想定。

利用形態別 計算資源需要割合
(予算計上額基準)

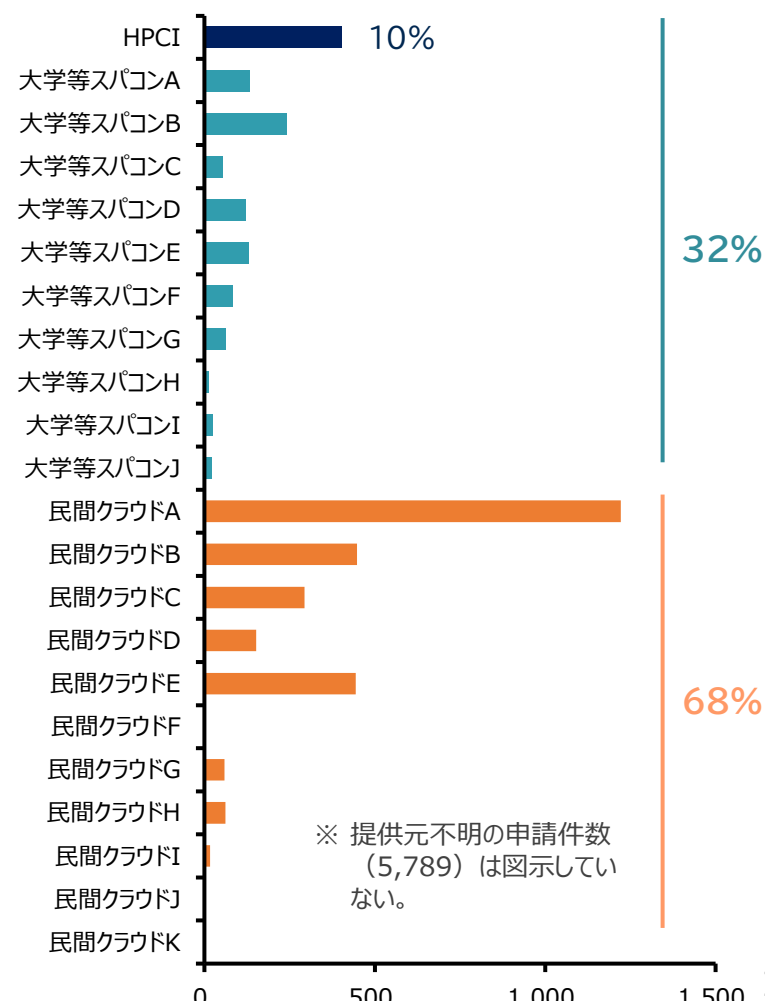


遠隔利用における提供元別計算資源需要

GPU時間(GPU-h)(計16,286,297)



申請件数(n=3,997)



(注釈)

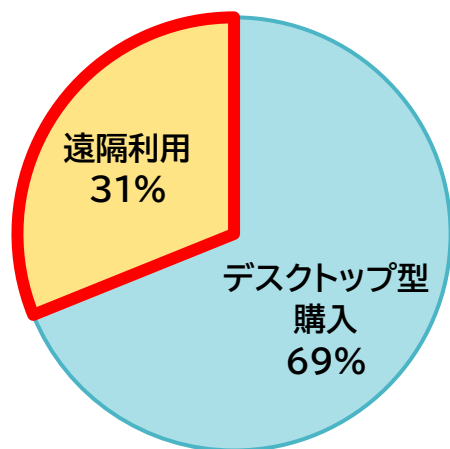
- ※ 本データは、SPReAD1000第1回公募における申請書の内容を元に必要な計算資源費の大まかな規模を見積もるために文部科学省において概算したものである点に留意。
- ※ 1つの申請において複数の資源利用を想定していることから、グラフ中の申請件数には重複がある。
- ※ 利用形態別計算資源需要割合の系列について、「デスクトップ型購入」とはデスクトップ向けGPUの購入、「遠隔利用」とはHPCIや各機関のスパコン、民間クラウドサービス利用を指す。
- ※ 提供元別計算資源需要は、SPReAD1000の申請内容及び各スパコンセンター等の公表情報参照の上で概算した結果。
- ※ 提供元別計算資源需要の系列について、「HPCI」とはHPCI制度による大学等スパコンの利用、「大学等スパコン」とはHPCI制度によらない大学等スパコンの利用を指す。

SPReAD第1回公募における計算資源需要の内訳（採択課題）（速報値より）

- SPReAD1000第1回公募では456件超を採択。申請総額に占める計算資源費(購入・利用料)は42%。
- 計算資源費のうち、デスクトップ型資源の購入が69%、大学スパコンや民間クラウド等の遠隔利用が31%。
- 遠隔利用のうち、資源の提供元が判別できる分(提供元不明分及びその他分を除いた場合)の合計GPU時間の59%、申請課題数の40%がHPCI又は大学等スパコンの利用を想定。

利用形態別 計算資源需要割合

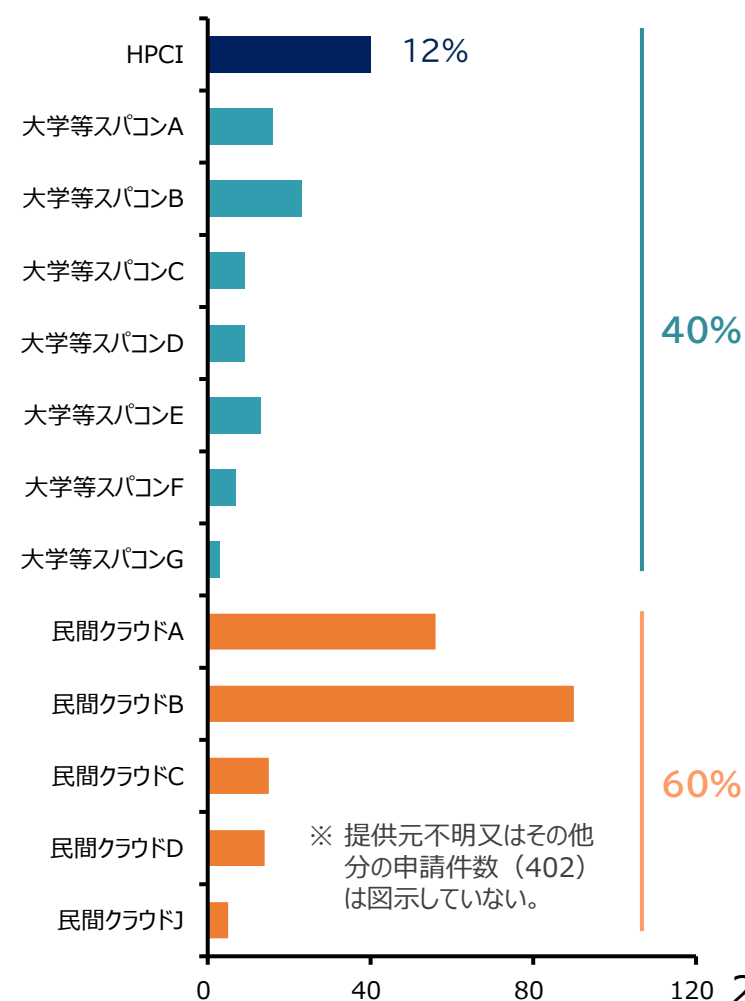
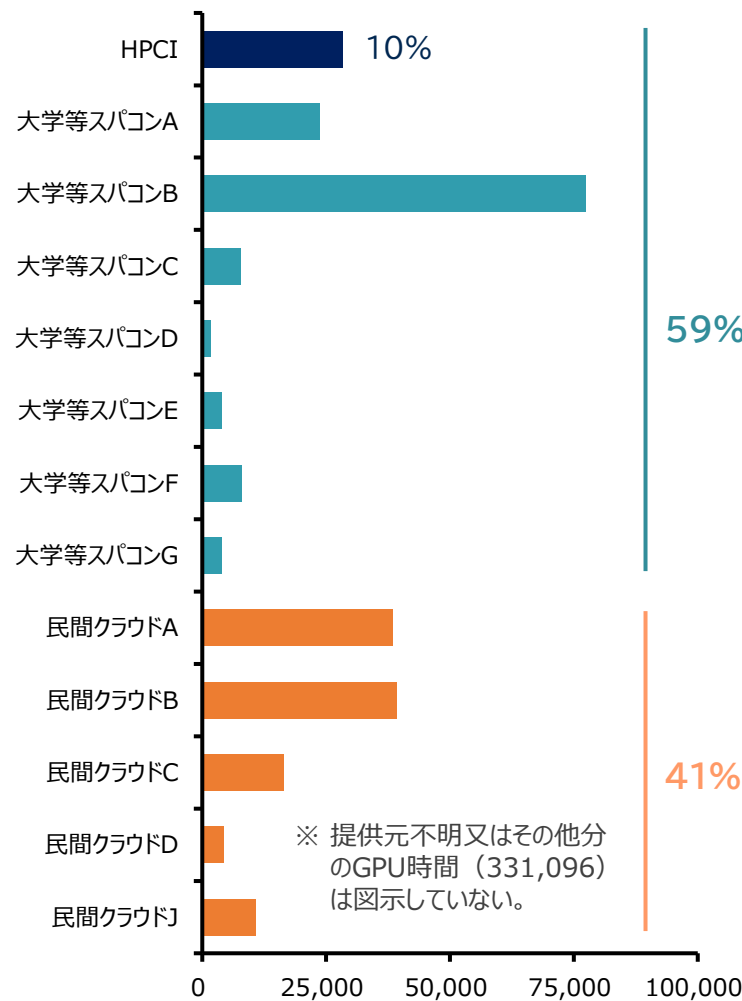
(予算計上額基準)



遠隔利用における提供元別計算資源需要

GPU時間(GPU-h)(計264,308)

申請件数(n=300)



(注釈)

- ※ 本データは、SPReAD1000第1回公募における申請書の内容を元に必要な計算資源費の大まかな規模を見積もるために文部科学省において概算したものである点に留意。
- ※ 1つの申請において複数の資源利用を想定している場合があることから、グラフ中の申請件数には重複がある。
- ※ 利用形態別計算資源需要割合の系列について、「デスクトップ型購入」とはデスクトップ向けGPUの購入、「遠隔利用」とはHPCIや各機関のスパコン、民間クラウドサービス利用を指す。
- ※ 提供元別計算資源需要は、SPReAD1000の申請内容及び各スパコンセンター等の公表情報参照の上で概算した結果。
- ※ 提供元別計算資源需要の系列について、「HPCI」とはHPCI制度による大学等スパコンの利用、「大学等スパコン」とはHPCI制度によらない大学等スパコンの利用を指す。
- ※ 提案締切時と採択課題決定時の公開情報の違いから、一部の系列についてGPU時間の目安の整理が前頁と異なる場合がある。